

# モニタリング結果報告書

施設名 : 県立三ツ池公園  
指定管理者 : 横浜緑地・西武造園・協栄グループ  
施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所

(平成22年度 上半期)

## 管理運営状況総括

### 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月31日	
5月	6月10日	6月30日	
6月	7月12日	7月30日	
7月	8月10日	8月23日	
8月	9月10日	9月30日	
9月	10月12日	10月29日	

### 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

#### (1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る  B : 提案どおり  C : 提案を下回る

#### (2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

#### <提案内容の概要>

貴重な水・みどり・スポーツ・レクリエーションを提供すると共に、地域活動を受入れ、先人の英知と努力を理解して、より質の高いサービスを提供して、三ツ池公園を次世代に継ぐ管理運営を行います。

- 計画的な「サクラ更新」を実践します。
- 平等・公平な公園利用促進を実践
- 三ツ池の水質改善を検討します。
- ユニバーサルサービスの提供を促進
- 多様な「地域交流」拠点づくり
- 水ぎわの安全と親水性の確保
- 水・みどりの自然環境拠点づくり
- 地域と連携した防犯対策
- 魅力的な野外活動
- 生物多様性確保の取り組みを実践
- 安全・安心・快適な公園づくり
- 利用者や地域住民との情報交流を図る

#### <実施状況>

4月に開催されたコリアマダンを始め、5月の三ツ池公園文化・環境フェスティバル等、毎年開催されてきた催し物も例年どおり開催され、今年も大勢の来園者に喜ばれた。また、ボランティア等の「水辺クラブ」「里山クラブ」「環境探偵団」「花壇クラブ」「つるみプレイパーク」等との協働で「桜の観察会」「夜の自然観察会」「ウォーター滑り台」「外来魚防除」「田植え・生きもの調べ」「花壇の手入れ」等多数のイベントが開催され、積極的に利用促進を図ることができた。駐車場も機械式を導入することにより、職員の対応に対する苦情もなくなり、その面ではサービスの向上を図ることができた。また、夏期のプールについては、猛暑だったこともあり入場者も25,242名(対前年比133.5%)と大幅な増となったが、特段の事故もなく無事に終了することができた。

利用者満足度調査の結果からは、5段階評価で各項目とも4以上であり、「全体の満足度」でも4.3との評価であったことから、維持管理の面から見て、それなりの管理水準であったと判断される。今後ともなお一層、サービスの向上と利用促進を積極的に図る必要がある。

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	122,496	71,715	11,460 (12,372)	39,321 (36,573)	122,496	0
上半期計 (a)	74,401	40,125	9,625 (8,749)	24,651 (23,278)	61,894	12,507
下半期計 (b)						
4月	16,067	6,268	633 (833)	9,166 (7,964)	7,033	9,034
5月	11,187	5,587	886 (865)	4,714 (3,569)	8,761	2,426
6月	8,790	5,320	884 (829)	2,586 (2,497)	11,337	△ 2,547
7月	14,597	8,850	2,746 (2,098)	3,001 (2,840)	13,141	1,456
8月	15,242	8,780	3,537 (3,050)	2,925 (2,947)	13,107	2,135
9月	8,511	5,320	936 (1,074)	2,255 (3,461)	8,513	△ 2
合計 (a+b)	74,401	40,125	9,625 (8,749)	24,651 (23,278)	61,894	12,507

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

収支の状況は、駐車場収入実績が計画に対して102.8%、利用料金収入実績が計画に対して122.0%、計画に対する収入額は103.4%と概ね計画どおりであり、支出実績は計画に対して92.3%と概ね計画どおり執行されているが、光熱費の上下水道料金の支出計画を偶数月としていたが、実績では奇数月の支出となったことから、計画より1回分(2ヵ月毎)の支出が下まわっている。今後の執行予定も含め、収支計画に2割以上の変更を生じる場合には、早めに変更申請を提出するよう指示。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	—	—
支出の状況	—	—
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	868,904人	1,017,566人	△14.6%
下半期計 (b)	0人	0人	
4月	551,944人	685,440人	△19.5%
5月	137,710人	134,025人	2.7%
6月	36,636人	37,410人	△2.1%
7月	50,121人	47,237人	6.1%
8月	51,158人	52,099人	△1.8%
9月	41,335人	61,355人	△32.6%
合計(a+b)	868,904人	1,017,566人	△14.6%

#### 利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

利用者減少の主な要因は、4月と9月の天候不順による影響が大きい。プール利用者は増えたが、利用者数のトータルには記録的な猛暑による特段の影響はなかった。

#### 5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	2	1				3
5月				2		2
6月	1	1		1		3
7月					1	1
8月					3	3
9月	2	2				4

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月		1	1
5月			
6月		1	1
7月		1	1
8月			
9月			

#### 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・パークセンター内ロッカーの増設	・増設に向け対応中
	・花見時期はゴミ箱を設置	・設置しない。回収回数が増
職員対応	・プール従業員同士の私語が多い。	・指導した。
事業内容	・駐車場混雑時の人員配置	・スタッフを配置している。
	・駐車場の繁忙期料金には反対	・今後の課題
その他	・外来魚防除関係者の言動・態度が悪い。	・指導した。
	・ジョギング中に飼い犬に咬まれた。	啓蒙看板やドッグスクール等でマナー向上に努める。

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		実施せず	
月 日			

## 9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場管理を機械化したことにより、職員の応対に関する苦情も無くなりました。また、来園される方も半年が経過し円滑に利用していただけるようになりました。</li> <li>・ ボランティアとの協働については、「三ッ池公園を活用する会(三活会)」と共催で“生物多様性を探る-生きものの賑わう公園づくりへの思い-”と題してフォーラムを開催しました。他のボランティアとも積極的に交流を行い、公園の魅力アップを観点に利用促進の拡大を行いました。</li> </ul>
施設所管課	<p>駐車場職員の応対に対する苦情が多かったが、機械式を導入したことにより苦情がなくなった。また、公園近隣の中学校等との連携を図ることにより、夜間の公園施設に対する悪戯が以前に比べ減少した。駐車場料金に繁忙期（花見時期とゴールデンウィーク）を設け公共交通機関を利用して頂くことにより、繁忙期の駐車場利用台数は以前に比べ減少したが、依然として外周の市道にまで駐車待ちが並ぶことがあるため、近隣住民等から苦情を寄せられることがある。また、繁忙期の有料施設利用者からは駐車場料金が高いとの苦情もあることから、検討の余地が残っている。</p>